

# 咀顎目

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。

出典検索?: "咀顎目" ([https://www.google.co.jp/search?hl=ja&as\\_eq=wikipedia&q=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22&num=50](https://www.google.co.jp/search?hl=ja&as_eq=wikipedia&q=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22&num=50)) – ニュース (<https://www.google.co.jp/search?hl=ja&q=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22&tbm=nws>)・書籍 (<https://www.google.co.jp/search?hl=ja&tbs=bks:1&q=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22>)・スカラー (<https://scholar.google.co.jp/scholar?num=100&hl=ja&q=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22>)・CiNii (<https://ci.nii.ac.jp/search?lang=ja&q=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22&range=2&count=200&sortorder=1&type=0>)・J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/result/global/-char/ja?globalSearchKey=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22>)・NDL ([https://iss.ndl.go.jp/books?op\\_id=1&locale=ja&any=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22&display=&ar=4e1f](https://iss.ndl.go.jp/books?op_id=1&locale=ja&any=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22&display=&ar=4e1f))・dlib.jp (<https://dlib.jp/?q=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22>)・ジャパンサーチ (<https://jpsearch.go.jp/csearch/jps-cross?csid=jps-cross&keyword=%22%E5%92%80%E9%A1%8E%E7%9B%AE%22>)・TWL (<https://wikipedialibrary.wmflabs.org/partners/>) (2021年6月)

**咀顎目**（そがくもく、Psocodea）は、昆虫綱の1目。伝統的にはチャタテムシ目（嚙虫目、Psocoptera）とシラミ目（Phthiraptera）に二分されていた。これらは現在でも便宜的に使われるが、亜目などに格下げされたのではなく、正式な分類群としては認められていない。

なお、シラミ目と訳しうる分類群にPhthirapteraとAnopluraの2つがあるが、以下では単にシラミ目というPhthirapteraのこととする。

## 系統と分類

### 咀顎目 Psocodea



チャタテムシ *Graphopsocus cruciatus*

#### 分類

界：動物界 Animalia  
門：節足動物門 Arthropoda  
綱：昆虫綱 Insecta  
目：咀顎目 Psocodea

#### 亜目

- コチャタテ亜目 Trogiomorpha
- チャタテ亜目 Psocomorpha
- コナチャタテ亜目 Troctomorpha
- マルツノハジラミ亜目 Amblycera
- ホソツノハジラミ亜目 Ischnocera
- ゾウハジラミ亜目 Rhynchophthirina
- シラミ亜目 Anoplura

系統				伝統的分類		古い分類		
				下目	亜目	目		
コチャタテ亜目 Trogiomorpha						チャタテムシ目 Psocoptera		
チャタテ亜目 Psocomorpha								
ウロコチャタテ下目 Amphientometae				コナチャタテ 亜目 Troctomorpha				
Sphaeropsocidae			Nanopsocetae					
フトチャタテ科 Pachytroctidae								
コナチャタテ科 Liposcelididae								
マルツノハジラミ亜目 Amblycera				シラミ目 Phthiraptera		ハジラミ目 Mallophage		
ホソツノハジラミ亜目 Ischnocera								
<u>ゾウハジラミ亜目</u> Rhynchophthirina								
シラミ亜目 Anoplura						シラミ目 Anoplura		

伝統的な2目のうち、チャタテムシ目は側系統である。シラミ目は、マルツノハジラミ亜目が別の系統に属するので、多系統である。

伝統的には7亜目に分かれる。このうちコナチャタテ亜目は側系統であり、分岐分類学的な立場からは認められない。そのため、シラミ目の4亜目をコナチャタテ亜目Nanopsocetae下目に含めるなどの分類が提案されているが、確立した系統分類はまだない。

古い分類での3目は、それぞれ生態に対応している。

- チャタテムシ - 非寄生性
- ハジラミ - 咀嚼性の寄生昆虫
- シラミ - 吸収性の寄生昆虫

## 歴史

かつては、チャタテムシ目（嚙虫目、Psocoptera）、シラミ目（裸尾目、Anoplura）、ハジラミ目（食毛目、Mallophage）の3目が置かれていたが、その後、シラミ目 (Anoplura) とハジラミ目をシラミ目に統合し2目とすることが主流となった。

2目は近縁と思われており、1982年、2目の上位分類として咀嚼類Psocodeaが提唱された。ただしこの時点では、2目は共に単系統だと思われていて、目としてあつかわれていた。とくにシラミ目はその生活環の全てを哺乳類または鳥類に寄生してすごすという稀な特徴があり、多くの共通派生形質を共有していたことから、単系統性が強く信じられていた。

その後、形態を使った系統学的解析により、シラミ目とコナチャタテ亜目が姉妹群をなし、チャタテムシ目は側系統だと考えられるようになった。しかしこの段階ではまだ、シラミ目は単系統だと思われていた。

しかし、18S rDNAを使った分子系統学的解析により、シラミ目とコナチャタテ亜目の系統は複雑に入り組んでいることがわかった。シラミ目マルツノハジラミ亜目が他の亜目と別系統であることが判明し、シラミ目は多系統であることがわかった。したがって、共通派生形質は、寄生にともなう収斂進化であったとみなされる。

---

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=咀顎目&oldid=84215644>」から取得

---

最終更新 2021年6月26日 (土) 14:59 （日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。